

学校自己評価の結果と考察

笑顔いっぱい

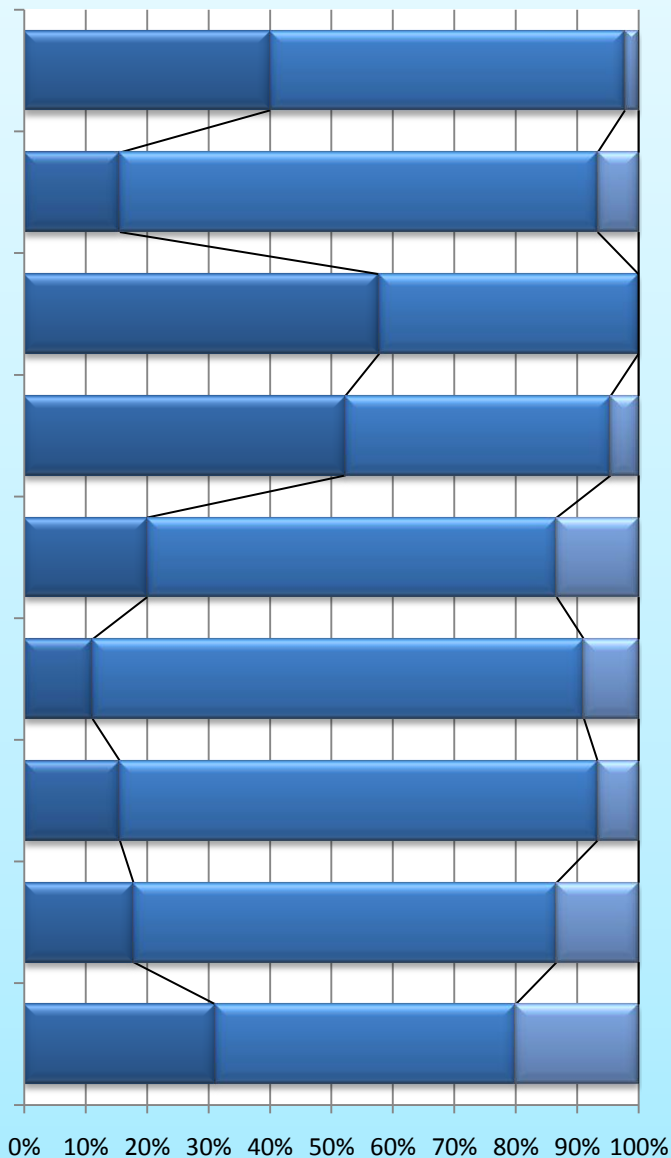
- ① 笑顔いっぱいの学級や児童会をつくります
- ② 生活習慣の定着を図ります
- ③ 心を育てる学校行事や伝統文化教育の推進を図ります

元気いっぱい

- ① 体力の向上に努めます
- ② 安全教育を展開します
- ③ 下校時の安全確保に努めます

勉強いっぱい

- ① 学力向上に努めます
- ② 特別支援教育を充実させます
- ③ 本読みがいっぱいできるように努めます



- A ; できている
- B ; まあまあできている
- C ; あまりできていない
- D ; できていない

上のグラフは、本校の教育目標を具現化するために策定した「桜花児童プラン」の達成度について、本校全教職員の評価結果をまとめたものである。9つある重点努力事項のほとんどで評価A「できている」及び評価B「まあまあできている」の割合が80%を超え、桜花児童プランに沿って教育活動を営むことができたと言える。一方で、今後の課題も浮き彫りとなる。特に、評価C「あまりできていない」の割合が多かった「読書活動」「安全教育」「特別支援教育」に今後力を入れていくことを確認した。具体的には、読書時間の確保、安全教育・防災教育計画の抜本的見直し、特別支援教育の充実などを次年度の桜花児童プランに盛り込んでいくことにした。

学校経営方針を明確にする桜花児童プランは、本校の教育において有効に機能していることを学校自己評価全体協議の中で再確認した。よって、次年度も、この評価結果や保護者による評価、学校関係者による評価を反映させた「平成24年度版“桜花児童プラン”」を策定したい。そして、プランの確実な推進によって本校が目指す児童をはぐくんでいきたいと考える。